

| 平成 21 年度 | 科目名 | 基礎ゼミナール | | | 授 業 計 画 | 担当者 : 戸田 泰男 |
|----------|---------|---|---|-----------------|---------|-------------|
| 2009 | 前期 木 曜日 | クラス | 1 | 時限 9:00 ~ 10:30 | 時限 ~ | |
| | 主 題 | 内 容 | | 課 題 | | 資 料 用 具 |
| 1 0416 | | 共立女子大学の教育理念 建築・デザイン学科の教育理念 | | | | |
| 2 0423 | | 図書館ガイダンス 学科学生カード作成 | | | | |
| 3 0430 | | 図式思考法1 視覚構造化法 | キーワード グループ化・ラベリング 構造化 | | | |
| 4 0507 | | 図式思考法2 自己分析(要素抽出・グループ化・構造化) 事象から、要素の抽出を行い、次にそれらをカテゴリーごとにグループ化し 次にそれらの構造化を図り、事象の全体像を客観的に明らかにする | | | | |
| 5 0514 | | 図式思考法3 自己分析をも基に自己紹介 | | | | |
| 6 0521 | | 図式思考法4 文章の読み方 文章の構造化 その文章の構造を視覚的に理解できるように図解し その中に組み込まれていたものを、深く理解できるようにする | | | | |
| 7 0528 | | 図式思考法5 文章の書き方 谷崎 文章読本 清水 論文の書き方 本多 日本語の作文技術 木下 理科系の作文技術 | 5W1H When Who Why Where What How | | | |
| 8 0604 | | 図式思考法6 連関分析法1 原因究明型 物事には原因と結果の関係があることから 問題となっていることの原因を究明する管理工学的手法 | | | | |
| 9 0611 | | 図式思考法7 連関分析法2 問題解決型 物事には原因と結果の関係があることから 問題となっていることの原因を究明し、その解決法を管理工学的に探る | | | | |
| 10 0618 | | 図式思考法8 ポジショニング法 (マッピング法) | 直交座標軸にポジショニング X軸(A対逆A)とY軸(B対逆B) PPM(プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント) <small>ポストン・コンサルティンク・グループの経営分析法</small> X軸(マーケットシェア高低)とY軸(市場成長率高低) | | | |
| 11 0625 | | 図式思考法9 マトリクス分析 SWOT分析 | 社外 機会 脅威 (顧客・競合・環境) 社内 強み 弱み (自社) | | | |
| 12 0702 | | 図式思考法10 三角ロジック | 主張 (だから…である) Why? ↓ データ 論拠 (…という事実や数字がある) (一般的に…の傾向がある) So What? ↑ | | | |
| 13 0709 | | 図式思考法11 フローチャート 事象の流れを視覚的に理解する、経営工学的手法 | | | | |
| 14 0716 | | 図式思考法12 PERT・CPM 工程計画管理手法の1つで、仕事(プロジェクト)全体を構成する各作業の相互依存関係を ネットワーク図にすることで、各作業の日程計画を作成するとともに仕事全体の所要時間を算出し さらにクリティカルパスを明らかにして所要時間の短縮を図る手法 | | | | |
| 0723 | 補講日 | | | | | |
| 15 0730 | | 図式思考法13 ミッシー(モレやダブリがない状態) (MECE = Mutually Exclusive Collectively Exhaustive) | | | | |